

議員定数・報酬等調査研究特別委員会 住民懇談会

令和6年8月24日（土） 14：00 赤東消防コミュニティーセンター

出席議員（議席番号順）：中井議員、小林議員、瀧野副委員長、渡邊議員、中島議員、
樋口議員、目須田議員、石川議員、清水議員、伊藤議員、
原田委員長、青山議長

住民参加者数：21名

司会：石川議員 あいさつ：青山議長、原田委員長 説明：瀧野副委員長

質問・意見等（発言順）

質問①

原価方式で報酬を算定すると現状ではいくらになるか。

回答①

議会活動の日数はおおよそ把握できる一方で議員活動の日数はバラつきがあり正確な額の算定ができていない。なお、定例会の会期日数のみを基に算定した場合は、全国平均額と同等の21万円になる。

要望

議員によって活動日数が大きく異なるなら、その平均日数の数値で算定すればいいのではないか。

その上で近隣市町村と比較した場合や議員を1、2名削減した分の報酬を議員に均等に割り振った場合の報酬額という比較資料があれば判断しやすいと思うので今後のデータとして提示してほしい。

回答

説明事例で挙げた木曽町では、3か月かけて議会及び議員の活動日数を調査した。時間的課題はあるが、取り組んでいきたい。

意見

定数を10にして報酬は倍にすればいい。町の予算は決められているのだから、報酬が少ないというのならこの方法しかない。

質問②

なり手がいないという話だが、議員という職は何度も務める職ではないと思う。大勢の人が議員になつてもらうとそれだけ行政を理解してもらえる人が増える。多選で議員を務めることは好ましくないと思うがどうか。

回答②

新人、多選議員共にいるのでそれぞれの考え方によるものと思う。

意見

大勢の人が行政に参画する中で、議員のなり手を発掘するために地元で努力してもら

いたいと思っている。

質問③

3点伺いたい。

I. 資料4ページの選挙の状況によると、4名の定数越えの時の投票率は80%だったので、当選ラインが上がるのは分かる。前回は無投票だったが、仮に選挙があれば誰かが落選すると考えるとやはり選挙はあった方がいいと思う。

これを踏まえ、なぜ投票率が下がっているのか、議員という職の魅力に魅力が無いと捉えているならどう発信するかということを議会としてどう考えているか。これは報酬のみの問題ではないと思う。

II. 資料より議員報酬が低いことは分かったが、低い理由を議会としてはどう考えているか。

III. 議員定数を減らせば報酬は上がるという単純な話なのか。

回答③

I. 議員の魅力を発信することは簡単なようで難しい。個人的には一般質問をしたことが実績となり、政策が達成されることに魅力を感じる。また、この積み重ねで議員をやってよかったと言えるような議会にしていきたいと考えている。

II. 全国的に見ても長野県の議員報酬は低いが、南信に進むにしたがって報酬が高くなる傾向にあり、北信地域は県内においても全体的に低い。アンケート結果に近隣同規模自治体を参考に報酬額を決定するという回答が41%あるように近隣に合わせて低いままできていると考えている。

III. 議員定数と報酬は切り分けるべきとの見解も承知しているが、定数を減らした分を報酬に充てればよいという意見を持つ方が実際には多いと考える。

質問④

例えば町の予算の中に議員報酬枠というものがあるとして、定数を減らせば報酬が上がり、なり手が増えて選挙になると思う。

極論だが議員がいなくとも、住民全員が参加すれば直接意見が反映されるが無理な話である。そのための代議員制度であって定数報酬をどうするか考えなければならないが、検討にあたって、町の予算の中でこの議員報酬枠がどの程度あるか考えるのは現実的ではないということか。

回答④（ここまでの質問者全員に対して）

原価方式のデータの提示は中身が非常に分かりにくい。今の原価方式の計算は議会活動に加えて議員活動も報酬とする動きがあるが、どのような活動を議員活動とするかという問題があり、その整理には時間がかかってしまう。月日をかけて飯綱町の報酬の算定の仕方を考えなければならないと思っている。

定数と報酬は切り分けて考えたい。ある程度の定数がないと多様な意見がある議会にならない。また、2つの委員会で審議をしているが、それぞれ7,8名で審議することが最

低限の人数ではないかと言われている。

Ⅰ．議員はやってみるととても魅力がある。町の事業、予算等は町長ではなく議員が決める。町長は議会の議決を経なければ1円たりとも予算を使えず、また仮に誤ったことを行うとしても議決を経ていけば問題にならないほどである。

Ⅱ．報酬の低さは先の説明の通り。定例会での議会提案によって議員報酬を変えられるが、お手盛りで報酬を変更するより報酬等審議委員会を経る方が好ましいと委員会で判断して現在このように取り組んでいる。

Ⅲ．定数を減らせば報酬が上がるという事は一切ない。議員の活動を踏まえて報酬を上げてほしいと思っていただければありがたい。

質問⑤

定数報酬について資料冒頭に結論が示されているが、これは議員全体で話がついているものか。

回答⑤

住民の皆様は懇談会で意見をお聞きするための案として載せている。

質問⑥

その案について資料9ページの意思統一に棄権が2名、またその下段に3名とあるが棄権した理由は。

回答⑥

特に棄権理由の聞き取りはしておらず、委員会としては把握していない。

要望

インターネットで議会のことを調べられることを知っている住民が少ないのでPRをすると思う。また、議会事務局が充実すれば懇談会の場をより設置することなどできと思うので一緒に要望してほしい。

質問⑦

定数を15から14に削減するという案は、立候補者が少なくなり選挙を行った方がいいと議会として考えたからか。

回答⑦

資料8ページの町民アンケートに定数を減らすべきという意見が65.4%あるが、これに応えるべきではないかという議員の意見を反映させている。

質問⑧

資料冒頭に定数1減で報酬増とあるが、議員は住民の代表なのだから基本的に議員の決定を尊重すべきだと考えている。ただ、代表と言っても無投票だったので懇談会を開いて住民からこの決定のお墨付きをもらおうという考えなのか。あるいは懇談会で決定と異なる住民の意見が多かったら内容を変えるのか。

回答⑧

住民懇談会を行うために議会として意見を一本化したほうが好ましいと判断し、決定

ではなく案としてお示ししている。各会場での意見要望を持ち帰って委員会で検討するので内容が変わることもありえる。現時点のもので決定ではないので残りの期間で議論をして多くの住民が考えている方向性に合うものとしていきたい。

意見

住民の声を吸い上げるという意味では、昨年の町民アンケートの回答者数 136 名はあまりに少なすぎる。懇談会はここが 4 会場目で一番人が集まったとのことだが、より懇談会の周知をするほか、1 年に特別委員会を 13 回も開くのは多すぎるので、その間に住民の声を聞くような機会を予め入れるべきだったのではないか。議員だけで案を全て決めてから住民に示すのは手続き上、好ましく思えない。

意見

参加者が前回懇談会の半数くらいだと感じる。また、会場に来て初めて資料を見るが、つまりこの資料を見られる住民は数%しかいないと言い換えられる。案の検討の過程に広く町民の意見を聞くというプロセスが含まれてなく、13 回開いた委員会の中に住民懇談会が無ければ、これからも広く意見を聞くという過程も書かれていない。時間をかけて作る試みは素晴らしいが全体像を見て制度設計をしていかないともったいないと思う。

今回は定数報酬だが、これを機にどういう議会を作りたいのかという議会からの提案を含めた上で一つの結論として議員定数と報酬を決めるという考え方が大切なのだと思った。

回答

講演会においてもどういう議会を作っていくことが大切だと話があった。これについても並行しながら考えていきたい。

要望

報酬の増額のみでなく定数や基本的なラインも設けて報酬が決まるような形になってもらえるとありがたい。

15 : 30 頃 懇談会終了

以上